

# クラブ運営方針

2008～2009年度会長 藤本俊春



時あたかも、諫早ロータリークラブは平成21年の次年度創立50周年の輝かしい佳節を迎えます。

この半世紀50年を迎える最後の本年を総括の時と位置づけ、今後の取り組みの態勢を整えなければなりません。

昭和35年に、戦後、諫早大水害からの復興間も無いこの諫早の地に、「友愛と奉仕」という基本理念の基に立ち上がった9人の発起人。結集した総数29名のチャーターメンバー。

そしてすべてのロータリーの先人たちにまずは衷心より感謝の誠を捧げます。

歳月の流れの中で、世界も我が国も我がまちも大きく変わりつつありますが、先人たちが実践した数多の活動は我々ロータリアンの偉大なる誇りであり、厚く顕彰し、正しく継承することが義務であり使命であります。

昨今、少子高齢化や地域格差により社会環境が大きく変容し、日本人の持つ伝統的価値観や家庭、地域の生活共同体意識が失われつつあり、かつて起こり得なかった諸問題が次々発生しております。特に命の大切さを軽んじる世相は、洵に憂慮に耐え難いものがあります。

この時にあたり、我々ロータリアンは、今一度その使命を認識し、ロータリーの定義を理解し、人道的な奉仕に努め、また各自の職業を通じての「奉仕の理想」の真義を顕現する実践活動に一層邁進しなければなりません。

そして、太古より受け継いできた悠久の歴史と伝統に基づく麗しい国柄と情操を未来永劫へと守り伝え、ひいては世界の恒久平和と共存共栄に専心すべきと考えます。